



令和4年(2022年)第38週 2022年9月19日(月)~2022年9月25日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報

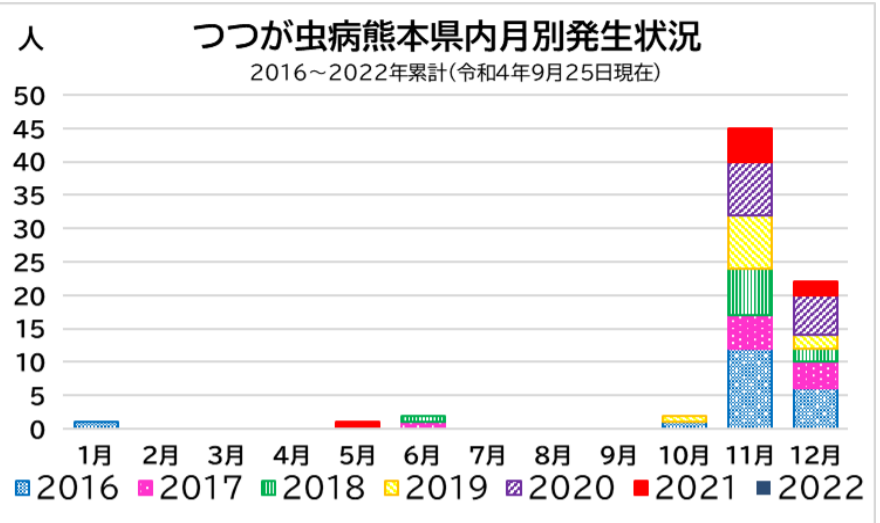
厚生労働省  
ホームページ  
「ダニ媒介感  
染症」



## ●つつが虫病

つつが虫病は、つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシ(ダニの一種)に刺咬されることにより感染します。2022年はまだ報告がありませんが、11月~12月に発生が多いので、特に気をつけましょう。

- ・潜伏期間…約5~14日
- ・治療…早期に本症を疑い、適切な抗菌薬を投与することが極めて重要です。
- ・症状…全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛、悪寒、発熱などを伴って発症します。体温は段階的に上昇し数日で40℃に達することもあります。刺し口は皮膚の柔らかい隠れた部分に多く、刺し口近くのリンパ節は発熱する前頃から次第に腫脹します。その後数日で顔面や体幹を中心に不定型の発疹が見られるようになります。重症になると肺炎や脳炎症状をおこすことがあります。
- ・予防法はマダニ対策と同様のため、日本紅斑熱(36週)のバックナンバーをご参照ください。



主なダニ媒介感染症【厚生労働省「ダニ媒介感染症」】ホームページより抜粋。詳しくはそちらをご覧ください。

病名	媒介するダニ	主要症状	潜伏期間
つつが虫病	ツツガムシ	頭痛、悪寒、全身倦怠感、食欲不振、高熱、発疹(主に体幹部)重症になると肺炎や脳炎症状。	約5~14日
にほんこうはんねつ 日本紅斑熱	マダニ	頭痛、全身倦怠感、高熱、発疹。	約2~8日
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	マダニ	発熱、消化器症状(嘔吐、下痢等)、時に頭痛、神経症状(意識障害、けいれん等)、呼吸器症状、出血症状。	約6~14日

期 間		2022年 37週		2022年 38週	
		9/12~9/18		9/19~9/25(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	↑	6	0.24	8	0.32
RSウイルス感染症	↑	11	0.69	9	0.56
咽頭結膜熱(プール熱)	↑	0	0.00	1	0.06
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑	0	0.00	1	0.06
感染性胃腸炎	↑	55	3.44	33	2.06
水痘(みずぼうそう)	↑	0	0.00	0	0.00
手足口病	↑	27	1.69	47	2.94
伝染性紅斑(りんご病)	↑	1	0.06	0	0.00
突発性発しん	↑	11	0.69	11	0.69
ヘルパンギーナ	↑	11	0.69	6	0.38
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑	1	0.06	0	0.00
急性出血性結膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	↑	0	0.00	2	0.40
細菌性髄膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	↑	0	0.00	0	0.00
マイコプラズマ肺炎	↑	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	↑	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑	0	0.00	0	0.00